

令和 5 年 2 月 14 日

学位論文審査、最終試験並びに学力の確認結果報告書

大学院薬学研究科長 殿

主 査： 小 林 健 一	
副 査： 西 剛 秀	
副 査： 浜 上 尚 也	
副 査： 高上馬 希 重	

このたび 滝口 真伍 にかかわる学位論文審査、最終試験並びに学力の確認を行い下記の結果を得たので報告する。

記

1. 学位論文題目

天然環状ペプチド オギペプチン及びその誘導体の合成研究

2. 論文要旨 (別 添)

3. 学位論文審査の要旨

オギペプチン A-D は、グラム陰性菌に対して抗菌活性を示すことから、新しい抗菌薬のリード化合物として期待される。本研究では、類似構造を有するコリスチンよりも副作用の少ない抗菌薬の創製を目指して、オギペプチン A 及びオギペプチン誘導体の合成検討を行った。

本研究ではまず、天然のオギペプチン A-D からアシル側鎖部に関する 45 種類の誘導体を合成した。多くがグラム陰性菌に対して抗菌活性を示すことを確認し、コリスチンよりも腎毒性が低い誘導体も見出した。続いてオギペプチン A の合成検討を行い、固相合成法による効率的な全合成に成功し、不明であったオギペプチン A の全立体配置を決定した。さらに、確立した合成ルートを基盤として骨格改変型の新規オギペプチン誘導体 8 種類を合成した。

本研究は、抗菌薬開発のリード化合物として期待されるオギペプチン A の世界初の全合成を達成したこと、及び合成した各種誘導体を用いた創薬研究を展開した点において学術的価値が極めて高い。将来的には、本研究成果を基盤とした新しい抗菌薬の創製が大いに期待される。

4. 最終試験 (学力の確認) の要旨

博士論文研究発表会における発表内容、発表態度、質疑応答、及び口頭試問における適切な回答から、博士 (薬学) の学位取得に十分な学力を有するものと認められる。

以上の結果 滝口 真伍 は博士 (薬学) の学位を授与する資格の ある ものと判定する。
ない

以上